

●／／ほんべつ

くみあい
だより

賀正



🐾 今月の表紙 🐾

仙美里東 樋口敏則さん 所有の牡馬
フウジンライデン号

2026 1 No.484

本別町農業協同組合



年頭にあたって

代表理事組合長 佐野 政利

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

厳しい寒さが続くなか、日頃よりJA本別町の事業運営に対し、組合員の皆さまをはじめ関係機関各位から温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は自然災害が相次ぎ、営農の難しさを実感する一年でした。2月の記録的な大雪では牛舎やハウスが倒壊し、春作業も遅れました。夏の猛暑で小麦は細麦傾向となりましたが、反収は調整後10・3俵と平年並みの収量を確保できました。

豆類では、小豆が平年を上回る4俵以上、大豆は豊作の5・3俵と好調だった一方、大正金時は2俵と不作。馬鈴しよは小玉傾向で1・2割の減収、タマネギやキャベツもかなり不作でした。ビートは

猛暑の影響で糖度が低く、反収は5・5トでした。

8月には、共栄から勇足東にかけて約330畝が雹害に見舞われ、豆類を中心に落葉や倒伏の被害が発生し、農協として最大5万円の見舞金を支給いたしました。今後も組合員に寄り添う農協でありたいと考えております。

酪農では乳量約4万5千トを維持し、乳価の上昇もあって、厳しい状況から一歩前進しました。畜産クラスターも再開の見通しが立ち、個体販売や初妊牛価格も安定しています。ただ、牧草はチモシー種が夏枯れで大打撃を受け、デントコーンの収量減も深刻であり、本年から抜本的な対策に取組めます。

令和9年9月に生産停止予定の株式会社明治本別工場については、企業の都合による

再編である以上、生産者に不利益が生じないよう責任ある対応を求め、生乳を出荷している東北部4JAと行政及び関係団体が連携し、臨機応変に対応してまいります。

旧Aコープの「ほんべつ元気館」につきましては、町が主導するSDGs協議会の推進役を担う一般社団法人「andほんべつ」に貸し出す予定です。人口減少や中心部の空洞化といった課題もある中で、借り手の確保は容易ではありませんが、今後も地域と連携し、まちの活性化に協力していく所存です。

昨年は、初の女性首相となる高市政権が誕生しました。一昨年、農林水産省視察時に懇談した高市首相は、強いリーダーシップと改革への意欲を持つ方でした。円安や日銀の金利動向は農業・農協経営に

も影響を及ぼしており、こうした情勢の中、農業界から東野秀樹氏を国会へと送り出すことができました。今後も東野氏と連携を密にし、農業の強化に努めてまいります。

農協は今、重要な岐路にあります。組合員の農協離れや職員の離職が続くなか、心を一つに結集し、先行きの見えない営農環境だからこそ組合員支援を強化し、役員と管理職が連携して若手が挑戦できる職場づくりを進めてまいります。

本年が皆さまにとって穏やかで実り多く、ご健勝とご発展に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



JA本別町
ホームページ

【公式】Instagram

1月の運勢

牡羊座
3/21~4/19

全体運 緊張感を持って事に当たれば道が開けます。一つ一つ丁寧に前へ進めていきましょう。下旬に変化の兆しあり

健康運 疲れを感じたら無理をしないこと。休めば回復

幸運の食べ物 セリ

目次

- 2・・・年頭の挨拶
- 3・・・各役員名列記
- 6・・・JAトピックス
- 10・・・STOP! 農作業事故
- 11・・・青年部
- 12・・・女性部
- 14・・・ほのぼのパーク
- 15・・・(豪華賞品が当たる!) お年玉クイズ
- 16・・・特別企画
「本別農業 地域と歩んだ80年」
- 19・・・本別警察署からのお知らせ
- 20・・・本別町農業青色申告会
からのお知らせ
- 21・・・JAからのお知らせ
- 22・・・理事会の動き
退職のご挨拶 ほか
- 23・・・年末年始のご案内
- 24・・・おいしく食べて美しく
生乳生産情報

ホクレン肉素牛市場結果

あけましておめでとうございます

農協青年部



部長 府川 諒祐

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には日頃より青年部活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、春先は降雨が多く、馬鈴しよの植え付けをはじめ、一部のは種作業に遅れが生じるスタートとなりました。また、夏場の高温や局地的な大雨雹の影響により、各作物の生育や品質にも影響が見られました。特に馬鈴しよでは収量の伸び悩み、豆類では過繁茂による収穫作業の遅れなど、不安定な天候により、気象条件の厳しさを改めて実感する一年となりました。さらに、円安基調に伴う資材価格の高止まりも続き、農家経営にとっては依然として厳しい状況が続いています。一方で、国政では農業に理解の深

い東野秀樹氏が参議院議員に当選され、地域農業の声がより国政に届くことが期待されています。また、ガソリン・軽油の暫定税率の廃止が実施・予定されており、燃料費の負担軽減が期待されるなど、前向きな動きも見受けられました。そのような中で、青年部では本年も「地域と農業の未来を次世代へつなぐ」活動を軸に、子どもたちへの食育活動や「本別きらめきタウンフェスティバル」「ほんべつ豆まかナイト」を始めとする地域行事との連携を進めてまいります。

盟友一人ひとりが地域農業の担い手であるという自覚を持ち、仲間とともに前向きに取り組む姿勢こそが、未来への力になると信じています。

最後になりますが、盟友の皆さま、ご家族、そして関係機関の皆さまの温かいご支援があつてこそ、私たち青年部の活動が成り立っています。改めて深く感謝申し上げますとともに、仲間と歩む一年が、皆さまにとって実りあるものとなりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

農協女性部



部長 齊藤 美紀

新年、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より女性部活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、農畜産業を取り巻く国内外の情勢や気候の変動に加え、肥料・飼料・生産資材などの価格が一向に下がらず、経営の悪化による離農の増加や、農畜産物を取り扱う店舗の経営にも影響が及ぶなど、厳しさが広がっているように感じられます。こうした状況だからこそ、支え合いやつながりの大切さを改めて実感する一年でもありました。本年は、少しでも明るい兆しが見える年となることを、心より願っております。

さて、昨年の女性部活動についてご報告いたします。

4月の「春のお楽しみ会」では、フレッシュミズとコスモス会の皆さんにもお声がけし、モルックを通じて楽しくスポーツ交流を行いました。9月の「本別きらめきタウンフェスティバル」では、毎年のことながら、テント設営などの準備に青年部の皆様のご協力をいただき、大変感謝しております。また、12月上旬には一泊研修旅行を行い、12月中旬には調理実習も行いました。

今後の活動としては、寄贈用の介護ウエス作成、2月の女性部交流会、3月の定期総会を予定しております。春から秋にかけて行っているフラワールード整備は、今年で25年目を迎えます。部員の皆さまをはじめ、各関係機関の皆さまのご協力のもと、長年にわたり続けてこられたことに、心より感謝申し上げます。

本年も、より良い活動を目指して、役員・常任委員・部員・事務局の皆さまと力を合わせて進めていきたいと思っています。

農畜産業や社会情勢が厳しさを増す中ではありますが、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 樽井 功

新年あけましておめでとう
ございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物

物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役員員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一歩を重要な礎とし、

改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は

午年です。午年はエネルギー

と行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



本年もよろしくお願ひします

農協理事・監事

代表理事組合長 佐野 政利
専務理事 新津 初男
理事 山下 博志

金融兼務理事 川岸 秀則
代表監事 伊藤 晴市
常勤監事 三宅 勝重
監事 吉田 誠一

業務協力委員会

委員長 山田 裕啓
副委員長 若林 健一
副委員長 吉川 弘晃
地区代表 小笠原 徹

石山 務
薩田 伸也
大和田 敦也
伊藤 徳久
福地 克也

地区代表

西尾 哲春
小川 雅彦

地区副代表

齋藤 かおり
登坂 昇

鈴木 正則
濱名 剛広
山中 佑馬
伏見 浩太郎
齊藤 英治
井出 憲雄
成田 剛
上原 啓市
福良 貴征
今野 直樹
井原 宏和

農協役員報酬審議委員会

委員長 高橋 秀和
副委員長 佐藤 亘
委員 斎 啓一
天池 鉄二
荒井 陽介
森住 賢宏
助川 嵩幸
齊藤 美紀
府川 諒祐

農協女性部

部長 齊藤 美紀
副部長 前佛 由美子
副部長 河野 裕美
副部長 土谷 恵子
監事 太田 良子

コスモス会

会長 山田 矩子
副会長 三崎 栄子
会 計 齊藤 郁子
監事 天池 博子

フレッシュユミズ

会長 佐藤 彩乃
副会長 田所 優花
会 計 田中 智美
監事 荒井 美代子
執行委員 高橋 康子



農協青年部

部長 府川 諒祐
副部長 岡本 汰一
副部長 佐野 良輔
副部長 佐藤 輝和
書記 長 田所 洋平
会 計 府川 紘樹
理事 齊藤 翼
理事 河野 綜太
監事 加藤 将人
監事 三井 彰浩



酪農振興協議会

会長 太田 重穂

乳牛検定組合

組合長 方川 弘一

酪農ヘルパー有責任事業組合

組合長 塚田 秀則

乳牛改良同志会

会長 幕内 久高

本別町預託牛振興組合

組合長 山田 英樹

馬事振興会

会長 樋口 敏則

和牛生産改良組合

組合長 高橋 秀和

麦生産集団協議会

会長 野中 一広

てん菜生産集団協議会

会長 斎 啓一

馬鈴しょ生産集団協議会

会長 今野 雅徳

加工・業務用玉ねぎ生産集団協議会

会長 天池 鉄二

土づくりを考える会

会長 山下 圭司

年金友の会

会長 向井 征治

本別町農民同盟

執行委員長 天池 鉄二

JA本別町がNPOと農福連携に挑戦

ふるさと納税返礼品の生豆袋詰めを一部委託 障害者の就労機会を創出

当JAでは12月2日、ふるさと納税返礼品事業の効率化を図るため、NPO法人ほんべつフリーライフ（羽賀健一代表）との農福連携を開始しました。道内外から注文が急増している生豆の袋詰め作業の一部を委託することで、職員の作業負担を軽減するとともに、障がい者の社会参加と就労機会の創出を図り、農業を通じて地域貢献の新たな形を目指しています。

この取り組みは、本別町役場保健福祉課がJAとNPO法人をつなぐことで実現しました。ふるさと納税の返礼品は、税収減に悩む地方自治体にとって



袋詰めに取り組むNPOの利用者と職員

重要な財源となっており、全国的に競争が激化しています。「豆のまち」として知られる本別町では、生豆の返礼品が特に人気で、担当する管理部企画課（食品販売）では、えいも小豆・大納言小豆・大正金時・大豆・黒豆を取り扱っています。今回、NPO法人に委託するのは、小豆4^キ袋の袋詰め、梱包、発送業務です。食品販売の担当者が就労継続支援B型事業所の利用者をサポートしながら、準備を進めてきました。現在、JAが小豆をNPO法人の事業所に届け、週2回ほどのペースで袋詰め作業が行われています。

羽賀代表は「利用者の所得向上につながる事業にご協力いただいた農協には感謝しています。衛生管理や品質保持を最優先に、事故が起きないよう細心の注意を払って取り組んでいきたい」と話しています。

年金友の会 一日研修

11月11日に農協2階会議室で、年金友の会（向井征治会長）の一日研修交流会が行われ、会員43人が参加。今回は新事務所での初開催となり、お披露目を兼ねた行事でした。

最初に、最近の詐欺被害の多さを受けて、本別警察署より講師をお招きし、被害の額や手口、基本的な対応について学びました。研修の後は、鑑賞会に移り、楽しい時間を過ごされました。次回は、3月に一泊での定期総会を予定しています。

（年金友の会 事務局）



真剣に耳を傾ける参加者の皆さん

勇中生の職場体験学習

11月18日、勇足中学校の職場体験学習が行われ、当JAでは2年生の今野大河くんを受入れました。

はじめにJAの事業内容について説明した後、管理部企画課が担当する「ふるさと納税返礼品」の業務を中心に、オンラインショップでご注文いただいた豆の袋詰め作業や発送作業などを体験してもらいました。今回の体験が今後の進路を考える上で少しでも役立ててもらえればうれしく思います。



今野大河くん



農業用廃プラ・不要農機具の回収

農業用廃プラスチック類は、法律によって産業廃棄物に指定されているため、適正に処理しなければなりません。環境保全の面からも可能な限りリサイクルすることが望まれます。

令和7年度に行われた農業用廃プラスチック類の回収量は、6月に約118ト、11月に約125トの、総重量243トになりました。回収した廃プラスチック類については専門の処理業者に引き渡され、固形燃料などとして有効活用されます。

また、11月13日から18日までの4日間、大型農機具や鉄など多種にわたる不要農機具の回収で、申し込まれた24戸に伺いました。

今後廃プラの適正処理と農業空容器の洗浄作業の徹底など、農村環境美化のためにご協力の程よろしくお願い致します。

「新物の豆」に感謝の気持ちを込めて



春から丹精込めて育て、秋に収穫された新豆を地元の皆さまに格安で販売する「収穫感謝祭」が、11月23日にJA農産センターで行われました。

当日販売したのは、小豆・大正金時・大豆・光黒大豆・とら豆の5種類です。昔ながらの一升杓を使った量り売りに加え、5キ入りの小袋も数量限定で用意しました。

会場は「本別の豆」を楽しみにする多くの来場者で賑わい、職員が木の杓で豆をすくうたびに響く心地よい音に耳を傾けながら、笑顔で袋を手にする姿が見られました。「毎年楽しみにしている」「親戚や知人に本別の豆を贈ると、とても喜ばれる」との声も寄せられ、生産者が一年通して努力し、心を込めて育てた豆の品質の高さが、こうした反応からも伝わってきます。

安全第一！ 刈払機取扱作業安全講習会を実施



労働災害防止の一環として、刈払機の安全な取り扱いに関する講習会が、12月5日に行われました。会場は、学科講習がJA2会議室、実技講習が生産資材センター倉庫内で、21人の参加者が熱心に受講しました。

講師には、株式会社楠茂建設の代表取締役であり、中央労働災害防止協会認定トレーナーの楠茂政則氏をお招きし、刈払機使用時の安全ポイントや実技での注意点に加え、日頃の作業で見落としがちな危険箇所、事故を未然に防ぐための工夫について、具体的な事例を交えて解説されました。

講習終了後には、受講者一人ひとりに「刈払機取扱作業安全衛生教育修了証」が講師より手渡され、参加者は改めて労働災害防止への意識を高めていました。

JA本別町 役員視察研修報告

令和7年度JA本別町役員視察研修が、11月5日から7日の日程で実施され、理事6人、監事3人、職員4人の計13人が参加し、旭川・札幌方面を訪問しました。

上川ライスターミナル(株)

初日は、上川郡鷹栖町にある上川ライスターミナル株式会社を訪問しました。同社は、平成8年3月に上川中央部の16JA(当時)とホクレンの出資により設立され、5千ト規模のカントリーエレベーターを建設して操業を開始しました。平成11年には、同規模の施設を増設し、現在の体制となっています。

設立当初は、「冬の厳しい北海道の冬では、カントリーエレベーターは長期保管に不向き」と言われていましたが、北海道大学や施工メーカーと連携し、「超低温貯蔵」などの実証実験を重ね、道内初の実用化に成功しました。

この施設は、広域産地ブランドの確立に向けた高品質米の大ロット供給や、単協および生産者による施設投資の費負担軽減を目的としています。利用生産者戸数は、ピーク時

の745戸から現在は333戸に減少したものの、取扱面積は変わらず、1戸あたりの作付面積が増加し、経営の大規模化が進んでいます。

また、搬入時のペーパーレス化にも取り組み、スマートフォンやタブレット端末を活用した伝票処理システムを導入しています。省力化に向けた先進的な取り組みは、当農協にとっても大いに参考となるものでした。

株式会社 藤井

旭川市流通団地にある株式会社藤井を訪問しました。同社は、米や豆類、そしてギフト商品の販売を手掛け、自社工場で精米した単一銘柄米からブレンド米まで、家庭用・業務用問わず幅広く提供しているのが特徴です。

雑穀類についても、大豆や小豆、金時などを用途に応じて選別し、納豆・煮豆・製餡原料など、多様なニーズに対

応しています。特に大豆ミート用の原料には強いこだわりがあり、「潰してしまうからといって、どんな粒でも良いわけではない」との藤井社長の言葉が印象的でした。

視察後の意見交換では、農業政策や日頃の思いについて活発な議論が交わされ、時間が足りなくなるほどでした。今回の訪問を通じて、株式会社藤井が地域の食と農業を支える重要な役割を担っていることを改めて実感しました。今後もお互いの立場から北海道農業を支えていけるよう、連携を深めていきたいと感じました。

株式会社 カーム角山

江別市角山にある株式会社カーム角山は、「Amor semper」(穏やかな未来を構築する)という理念のもと、平成26年に5戸の酪農家によって設立された複数戸酪農法人で、今年で10年目を迎えます。

総事業費16億8千万円をかけて牛舎設備を整備しました。当初は搾乳牛350頭からスタートし、令和5年には搾乳

頭数536頭、平均乳量37.3キ、出荷乳量6804キという実績を上げています。

施設内には糞尿処理のためのバイオガスプラントが設置されており、発電量は300kWに達します。搾乳には、デラバル社製の搾乳ロボット(VMSクラシック)8台を使用していました。稼働から10年が経過し、メンテナンス費用が増加したことから、今年すべてを最新型「VMS TM V300」に更新しました。作業効率が大幅に向上し、乳量も安定して確保できているとのことでした。

また、環境への配慮も徹底されています。大手飲料メーカーから、コーヒーの製造過程で出るコーヒーカスを受け入れ、牛の敷き藁に混ぜて消臭対策に活用しているほか、近隣の大田農家や小麦農家から副産物を引き取り、牛の飼料として再利用しています。

さらに、糞尿の浄化過程で生じる消化液を畑に散布するなど、循環型農業の取り組みも進めています。

本町でも酪農法人の設立が



最新の搾乳ロボット

増えてきており、カーム角山の取り組みには学ぶべき点が多くあると感じました。持続可能な酪農のモデルとして、地域農業の未来を支える重要な存在となっています。

株式会社 ホクレン 油機サービス

最後に、株式会社ホクレン油機サービスを訪問しました。同社は、ホクレンの子会社として平成13年7月に設立され、全道約260カ所にあるホクレンサービスステーションの総括・運営を行っています。

令和5年10月には小売電気事業者の登録を行い、令和6年4月から「JAでんき」の取り扱いを開始しました。今後は、各JAが代理事業者として「JAでんき」の販売を

展開していく計画です。

現在は、「JA新しのつ」
「JA函館市電田」が先行JAとして取り扱いを初めており、十勝管内では「JA十勝池田町」が令和7年から取り扱いを開始しています。今後は、令和8年度に35JA、令和9年度に60JAでの取り扱いを目指しているとのこと。当農協としても、令和8年度以降に取扱いを開始する予定です。

「JAでんき」には低圧・高圧のメニューが用意されており、特に低圧三相200Vは、他の電気販売会社と比べて安価な単価設定となっています。また、ワミカンで「営農用」と「家計費用」の振り分けができる点も、大きな特徴のひとつです。

今後、準備が整い次第、皆さまにもご案内を差し上げる予定ですので、ぜひご検討ください。

3日間という短い期間ではありますが、大変有意義な研修となりました。

組合員懇談会を開催します

2月24日(火)・26日(木)・27日(金) 午前10時から

(活込拓農・美里別上地区、本別・美里別東地区は午前11時から)

	1 班	2 班	3 班
2月24日(火)	仙美里西地区 新 生 西 仙 美 里 明美・清里 月 見 台 【新明台集会場】	活込拓農・美里別上地区 活 込 拓 農 美里別西上 美里別東上 【美里別地区公民館】	押帯・美蘭別地区 押 帯 上 押 帯 美 蘭 別 【押帯地区集会場】
2月26日(木)	本別・美里別東地区 東本別・共栄・共栄1 本別市街・フラツナイ 美里別高東・美里別東下1 美里別東下2 【農協会館】	勇足東地区 勇 足 東 1 勇 足 東 中 勇 足 東 4 勇 足 東 5 【勇足地区公民館】	仙美里東地区 仙 美 里 東 【仙美里地区公民館】
2月27日(金)	チエトイ・負簾地区 チエトイ 1 チエトイ 2 負 簾 1 負 簾 2 【西美里別地区農作業準備休憩所】	美里別中地区 弥 生 町 美里別西中 美里別東中 【美里別中集会場】	勇足西地区 勇 足 西 1 勇 足 西 2 勇 足 西 4 勇 足 西 5 【勇足地区公民館】



帯畜大生が「稀^{まれ}」を使ったあんこスイーツを披露

創作スイーツ「アンティブラン」を
手にする小川みずきさん



11月22日と24日の2日間、帯畜産大学3年の小川みずきさん（清水町出身）と町内の事業者が連携し、道の駅などでカフェマルシェが行われました。

小川さんは大のあんこ好きで、町内産アカネ大納言小豆を使った当JAのあんこ商品「稀」のつぶあんとしあんを使用したオリジナルスイーツを披露。2日間の限定販売したが、用意した100個が完売するほどの人気ぶりでした。

将来、あんこ専門のカフェの開業を目指す小川さんは、豆の産地として知られる本別町に自ら働きかけ、今回の企画が実現しました。「地域おこし協力隊」に興味を持つ人が定期的に地域活動を体験できる「おためし協

力隊員制度」を活用し、地元飲食店3店舗の協力も得ながら、地域とのつながりを深めつつ販売会に取り組みしました。

現在は、大学で国産小麦の製パン性を解析する研究室に所属し、パンやスイーツ作りを趣味としています。昨年夏に行われたMEGAドン・キホーテ帯広店のイベントで「稀」の2種類を購入するなど、あんこへの関心をさらに深めてきました。

今回開発したスイーツは、「アンティブラン」（税込400円）。あんこ、ティラミス、モンブランを組み合わせた創作スイーツです。コーヒースロップを染み込ませたスポンジケーキに、「稀」のつぶあんとバター入り濃厚クリームをサンドし、

さらに、マスカルポーネときなこのクリーム、そして「稀」のしあんを重ね、高級感のある味わいに仕上げました。

「こんなに多くの方に手に取っていただけたとは思いませんでした。とても嬉しいです」と、小川さんは笑顔で語っていました。

STOP! 農作業事故

公道走行や農作業に必要な免許を取得していますか?

いま一度、ご確認ください!

もしも事故を起こしてしまった場合、共済の対象とならないことがあります。

必要な資格を取得せずにいると…

トラクターに作業機を装着・けん引する場合や、ホイールローダーやフォークリフトなどの大型特殊自動車で公道を走行する際、大型特殊自動車免許（大特）やけん引免許が必要となります。また、これらを用いて作業を行う場合は各種作業免許も必要となります。

公道で無免許運転をすると、道路交通法違反で「3年以下の懲役または50万円以下の罰金」と重たい刑事罰が下されます。行政処分の違反点数は25点となり、免許取消は避けられません!!

再取得ができない欠格期間は最低でも2年となります。

不幸な労働災害を無くすためにも、未取得の資格がある方は積極的に取得しましょう。



熱気あふれる50周年! JA十勝青年部大会

11月25日、ホテル日航ノースランド帯広にて「第50回JA十勝青年部大会」が盛大に行われ、当青年部からは盟友9人が参加しました。



「会長賞」の賞状を受け取る
府川青年部長（写真中央）

今年度のテーマ「新時代へ未来へ走り出す一歩」のもと、管内から多くの盟友が集結しました。
大会では「JA青年の主張」ほか、各単組による「動画で発信! 農の魅力コンテスト」(30秒CM)が行われ、各単組の熱意あふれる発表に刺激を受けました。
当青年部からは、田所洋平さんが制作した30秒CMが見事「会長賞」を受賞!
本別の魅力を伝える映像として高く評価されました。
基調講演では、プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」を運営する株式会社レバンガ北海道の代表取締役社長・折茂武彦氏が登壇。挑戦と信頼の大切さについて語られ、その一言一言が心に深く響きました。

大会後の懇親会では、50周年を記念して希望する単組によるPRブースが設けられました。当青年部は本別町の魅力をPRするため、「稀」のつぶあんを使用した「おやきやTOTE」のおやきを提供し、ブースは大いに賑わいました。
さらに、「純農Boyオーディション」には篠江拓夢さんが、「アームレスリング大会」には城浦教祐さんが無差別級・銀河線ブロック代表として出場。惜しくも入賞は逃しましたが、会場を大いに盛り上げてくれました。
本大会では、各単組の青年部活動に対する熱い想いと、50年の歩みが育んだ絆と情熱が交差し、仲間とのつながりを深めるとともに、未来へと踏み出す貴重な一歩となりました。

つなぐ想い、ひらく未来 JA青年部全道大会



12月4日、5日の2日間、札幌パークホテルにて「第74回全道JA青年部大会」が行われ、当青年部からは盟友8人と事務局が参加しました。
今年度の大会テーマは『Step For The Future つなぐ想い、ひらく未来』
1日目は、「全道JA青年の主張大会」および「全道JA青年部活動実績発表」の審査が行われ、各地区を勝ち抜いてきた発表に数々の感銘を受けました。
夜の懇親会では、「ア

ムレスリング大会」「純農Boyオーディション」が行われ、笑顔あふれるパフォーマンスで大いに盛り上がりました。
2日目は、バブリー氏による基調講演が行われ、『ギャル式ブレスト』についてご講義いただきました。ギャル特有のマインドやノリ、テンションを活かし、難しい理論にとらわれず、まずは楽しむこと。そして発想のブレーキを外すことの大切さを学びました。
最後の表彰式では、十勝大会で会長賞を受賞した当青年部の30秒CMが、「農人の部」で優秀賞を受賞しました。本別町の魅力をしっかりとアピールすることができたと思います。制作に携わった皆さまに、心より感謝申し上げます。

女性部

冬の網走で心もほっこり♪

女性部一泊研修旅行

女性部（齊藤美紀部長）による一泊研修旅行が12月4日から5日に行われ、部員9人が参加し、網走方面へ行つて来ました。例年は7月に実施していましたが、今回は定期総会での協議を経て、時期を12月に変更して行いました。

初日は、北見市常呂町の「ところ道の市」へ立ち寄り、家族へのお土産などを選びながら買い物を楽しみました。その後は、



早めに「北天の丘 鶴雅ホテル」へチェックイン。温泉にゆつたりと浸かり、旅の疲れを癒しました。夕食後は一つの部屋に集まり、おしゃべりと笑いの絶えない楽しいひと時を過ごしました。

翌日は、清水町にある廃校を活用した「ほがじゃ清水 北陽工場」を見学。元小学校の可愛らしい面影を残す建物には、卒業生の想い出を描いたイラストをプロの方に描写してもらったという絵画も飾られており、とても綺麗な工場でした。工場の方からは、清水町へ移転してきた経緯や製造へのこだわりについてもお話を伺い、皆さん興味津々でした。

帰り道には、ジャンボ肉まん

で有名な「点香苑」に立ち寄り、

事前に予約していた肉まんや鶏まん、シューマイ、餃子など、夕飯にもなるようたくさん購入して、笑顔で無事に帰町しました。

コスモス会

笑顔あふれる
秋のひととき

コスモス会（山田矩子会長）による「秋のお楽しみ会」が、11月6日にJA2階会議室で行われました。当日は会員12人が参加し、ここ数年恒例となっている「さくらほりきり」のシール貼り絵に挑戦。「千支バージョン」と「シマエナガバージョン」の2種類を制作しました。

皆さん手慣れた様子で、1作品を約30分で仕上げ、2作品とも1時間ほどで完成させていました。

制作の後、昼食には少し早かったのでビンゴ大会を先に行いました。優勝・2位・3位の上位入賞者には、地元スーパの商品券が贈られ、その他の景品には、お正月に向けて用意された昆布や干し椎茸、だし、お餅などを袋に入れず見える状態でテーブルに並べ、参



加者は思い思いに欲しい景品を選んで楽しんでいました。最後はお弁当を食べながら談笑タイム。今年度最後の行事を、笑顔とともに締めくくる和やかなひとときとなりました。



フレッシュミズ三町交流会 「マクラメ編み」に挑戦

フレッシュミズ（佐藤彩乃会長）による三町交流会が、11月5日にJA2階会議室で行われました。今年は本別町の当番で、JA十勝池田町から6人、JAあしよから5人、JA本別町から10人の計21人が参加しました。

当日は帯広から講師をお招きし、「マクラメ編み」の講習会を実施しました。マクラメとは、糸やロープを結びながら模様やデザインを作る技法で、タペストリーやカーテン、アクセサリなど、さまざまな装飾品から家具まで、幅広いアイテムに応用されています。

参加者は4種類の作品から作りたいものを選び、タペストリーとコースターのテーブル、イヤリングとピアスの2テーブルに分かれて制作に取り組みました。講師とアシスタントのお二人の丁寧な指導のもと、一つ間違えてはどき、また結び直しながら、約2時間半かけてそれぞれの作品を完成させました。

制作のあとは、お弁当を食べながらの交流タイムとなり、会話も弾んで三町の絆がさらに深まりました。最後は、次年度の担当になるJA十勝池田町からのご挨拶をもって、笑顔に包まれた交流会は穏やかに幕を下ろしました。

笑顔の中に学びあり フレッシュミズ初の道外研修

フレッシュミズ



フレッシュミズ（佐藤彩乃会長）の道外研修旅行が、11月17日から19日の2泊3日で行われ、会員6人が参加しました。今回が初めての道外研修ということもあり、会員の半数が参加し、東京・鎌倉方面を訪れました。

出発当日は小雨の降る中、依頼した送迎バスで帯広空港へ向かい、正午には羽田空港へ到着。東京は22度と暖かく、上着を脱ぐほどの陽気でした。ホテルに荷物を預けた後、最初の訪問地である靖国神社を参拝。静かな境内を散策しな

がら、歴史に思いを馳せるひとときとなりました。その後はスカイツリーへ移動し、展望台に上るグループと買い物を楽しむグループに分かれて行動し、ソラマチで合流し全員で夕食を楽しみました。

2日目は早朝にチェックアウトを済ませ、東京駅から『はとバス』の鎌倉ツアーに参加しました。鶴岡八幡宮、長谷寺、鎌倉大仏を巡り、歴史ある町並みや神社の雰囲気になれながら、ゆったりとした時間を過ごしました。昼食後は江ノ島へ向かい、神社を参拝したり、海辺の景色を楽しんだり、自然と歴史文化の魅力を満喫しました。ツアー終了後は江ノ電で鎌倉のホテルへ移動し、予約していたお店で夕食をいただきました。

最終日は北鎌倉まで足を運び、建長寺と円覚寺を参拝。落ち着いた空気の中で心が整うような時間を過ごし、小町通りではお土産の買い物も楽しみました。帰りは、羽田空港から予定通りの便で出発し、午後9時に本別町へ無事帰ってきました。学びと交流、そして笑顔にあふれた思い出深い2泊3日の研修旅行となりました。

わんぱくキッズ



勇足西 5

南部 冬 弥くん (3)

(恭平さん・理央さんの三男)

ボール遊びとベイブレードが大好きな冬弥。お兄ちゃんたちと対等に遊びたくて、負けず嫌いな未っ子です。最近は包丁を使ってご飯支度を手伝ってくれるようになり、その姿に成長を感じています。

将来の夢は野球選手！たくさん食べて大きくなあれ☆
(理央)

表紙の馬

穏やかな横顔を見せる
牡馬・フウジンライデン号

2025年3月号(3ページ)の「馬産実務功労者表彰」でご紹介した樋口敏則さん所有の牡馬です。

穏やかな性格と風格あるたたずまいで、地元はもちろん、道内各地の生産者から信頼を集め、ばんえい競走馬の生産と改良増殖に貢献しています。



復活賞

10人が当選!

昨年は93通のご応募
ありがとうございました



本年も皆様からの
ご応募をお待ちして
おります

当選者 (敬称略)

- ▽上田誠志郎 ▽登坂 昇
- ▽上田弘法 ▽中山百合子
- ▽加藤陽向 ▽本寺愛菜
- ▽下道美枝 ▽牧田真実
- ▽唯野喜子 ▽山田富江

1月末日までに管理部企画課
でお受け取りください。

1月号から11月号のクイズに
応募していただいた正解者の中
で、当選できなかった15人の応
募者を対象に「復活賞」の抽選
を行いました。

当選した方には、当JAのオ
リジナル商品『稀』の「つぶあ
ん」「こしあん」をセットにし
て、10人にプレゼントいたしま
す。

抽選した鈴木参事



豪華賞品が当たる!

お年玉クイズ



応募要領

- 別紙の応募用紙に、答え、住所、お名前を書いてください。
- 1人につき1枚までとさせていただきます。
- 応募先は、職員出入口前（銀河アリーナ側）のポストもしくはFAX：22-3557（管理部企画課）まで

締め切り

2月10日（火）

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

➡ ヨコのかぎ

⬇ タテのかぎ

- 1 正月に食べる、モチ入り汁物といえば
- 2 じゃ焼きに挟み込まれているもの
- 3 おせち料理の定番の一品。卵が材料の一つ
- 4 交差——、及第——
- 5 右手が——、という人が多数派です
- 7 本を読み終えること
- 10 ガラガラとのを洗います
- 12 旅立つ人の——に駅のホームまで行った
- 13 ワラや木やレンガの家を建てる童話があります
- 14 漢字で書くと百足。足の多い生き物です
- 17 椅子のこと。ロッキング——
- 19 アルカリと混ぜると中和します
- 20 焚くとよいかがりが広がります
- 2 メレンゲを作るときに使う道具
- 6 鍋料理の締めにも使う麺
- 8 晴れかなあ、雨かなあ
- 9 牛、豚、鶏のものがよく流通しています
- 10 令和8年の干支です
- 11 歯ブラシにつけます
- 15 自分の兄弟姉妹の息子
- 16 ダルメシアンは——模様の犬です
- 18 書初め大会で——に選ばれた
- 20 受験生が空欄に書き込んでいくもの
- 21 単位はアンペアです



2026年 お年玉クイズ賞品

	賞品
組合長賞（1本）	ホクレンスタンド 洗車チケット （10,000円相当）
特別賞（9本）	ホクレンスタンド 洗車チケット （5,000円相当）
くみあいだより賞（5本）	「稀」 つぶあん、こしあん

当選者発表

おめでとうございます

11月号の応募者は、全員正解でした。
当選者には、当JAのオリジナル商品『稀（まれ）』の「つぶあん」「こしあん」をセットにして、5人にプレゼントいたします。
1月末日までに管理部企画課でお受け取りください。

- ◆河合良子 ◆鈴木純江 ◆山田哲夫
- ◆四宮竹子 ◆登坂恵美子

（敬称略）

抽選は、購買部の坂本職員（午年生まれ）が行いました。



11月号の当選者

ボタンナベ



ゴルシちゃん



まきた るい

みんなのイラスト



「本別農業 地域と歩んだ80年」

特別企画

第4回 本別経済を支えた2大工場

※写真は本別町歴史民俗資料館、北糖と明治2社の協力で引用しています

明治乳業本別工場の外観写真（1973年撮影）



大日本製糖株式会社本別製糖所の外観写真（1962年撮影）



本別町は戦後復興や第一次ベビーブームを経て、高度経済成長の波に乗り、飛躍的な発展を遂げました。その象徴となったのが、本別町の黄金時代とも言える昭和30～40年代に開業した北海道糖業(株)本別製糖所（当時は大日本製糖(株)本別製糖所）と(株)明治本別工場（当時は明治乳業本別工場）の2大工場です。

人口が1万8千人以上とピークをつける中、十勝管内のライバル自治体に競り勝ち、大工場の誘致に成功しました。畑作に近い北糖、酪農関連の明治とすみ分けし、本別農業の発展には欠かせない存在となりました。そんな2大工場も時代の変化とともにそれぞれの役割に区切りをつけようとする。今、地域経済に寄与してきた歴史や取り組みを振り返ります。（特別企画取材班）

熾烈な 誘致合戦の背景

本別町の製造業の歩みは、マッチの軸木づくりなどから始まった木材業や鉄工業、亜麻を中心とした繊維産業に始まります。農業を基盤に、商業・流通・建設業との結びつきも強まり、町の活気とともに人口も増加。本別町広報や町勢要覧によると、1959年（昭和34年）の住民登録者数は1万8858人に達し、小中学校は分校を含めて26校、本別高校には定時制も含め17学級もありました。飲食店や娯楽施設も多く、当時の本別町は十勝管内で帯広に次ぐにぎわいを誇っていたといえます。その勢いの象徴が、2大工場の誘致でした。

1960年（昭和35年）、国の所得倍増政策を受け、地方から都会部への労働力流出が進む中、地方自治体にとって雇用を生み出す大手企業の誘致は急務となりました。本別町でも誘致を目指し、他町村との熾烈な競争が繰り広げ



られました。

その中で注目されたのが、ビートの作付拡大と冷害対策を背景に新設が検討されていた北糖（北海道糖業株）の製糖工場でした。新得、清水、芽室、幕別、池田、浦幌なども誘致に名乗りを上げる中、本別町は1958年（昭和33年）に「工場誘致条例」を制定し、町や農業団体、商工業の代表者らによる「本別てん菜製糖工場誘致期成会」を結成。官公庁や道議会への陳情を重ねました。その中で大日本製糖（後の北海道糖業株）は町内3地区で現地調査を実施し、原料や製品の鉄道輸送に有利な勇足地区が有力候補にあり、1961年（昭和36年）、河野一郎農林水産大臣の決断により、本別製糖所とホクレンの清水製糖所の設置が正式に決定し、翌1962年（昭和37年）、本別製糖所は操業を開始しました。

北糖に続いて 明治乳業株の誘致に成功

製糖所の誘致から約10年後、本別町は再び大きな転機を迎えます。今度は全国規模の企業、明治乳業株（現在の株明治）の工場誘致に成功したのです。明治乳業は1917年（大正6年）に設立された極東煉乳株式会社を前身とし、北海道では1923年（大正12年）に十勝清水町で牧場と製酪所の経営が始まりと言われています。本別町農業史によれば、1968年（昭和43年）、明治乳業株北海道支社の中川政一参与が当時の水元孝夫町長、牧田庄二組合長との親交から本別町を訪れた際、十勝南部と東部への新工場建設の構想が持ち上がりました。南部は更別村、東部に本別町が候補としてあり、水元町長と牧田組合長は強い誘致活動を展開。町議会では「明治乳業工場誘致促進調査特別委員会」が設置され、各業界の代表者による誘致促進期成会も発足し、町をあげての誘

致活動が本格化しました。

工場用地には市街地に近く、美里別川と利別川の合流地点にある右岸の土地が選ばれました。1970年（昭和45年）には明治乳業の社長らが本別町を訪れ、工場建設計画を発表。ホクレンの配乳先変更や、4万平方メートルを超える広大な用地の確保を経て、1972年（昭和47年）に総工費約18億円をかけた新工場が完成し、念願の操業が始まりました。

北糖は原料確保に奔走 最新鋭工場誇った明治



北糖の本別事業所

砂糖事業は、もともと原料生産の基盤が脆弱で、安定的な原料確保が大きな課題でした。甘味資源の自給力強化が求められる一方で、粗糖の輸入自由化や供給過剰による価格低迷といった国の政策に翻弄されてきた歴史もあります。

1968年（昭和43年）、本別製糖所を有する大日本製糖は、北見製糖所の芝浦製糖、道南製糖所の台糖とともに再編され、北海道糖業として統合。その後も組織のスリム化や構造改革を重ね、現在はDM三井製糖グループの一員として事業を継続しています。

本別製糖所は、十勝の肥沃な大地を原料集荷区域に持つ強みを生かし、原料処理量・産糖量ともに北海道糖業の3工場の中で随一を誇っていました。南北約200メートルにおよぶ広大な集荷区域を持ち、陸別町・足寄町・池田町・豊頃町・浦幌町・大樹町・広尾町といった8町8農協と連携体制を築いてきました。農家の経営規模拡大により、一戸あたりの作付面積は増加傾向にあり、2018年から202

北糖工場の全景



4年の平均ビート作付面積は5227畝、生産量は32万5467トに達しています。直播栽培の比率も80%近くにまで高まっています。

一方、明治本別工場は操業当初、町内に祝賀の垂れ幕やモニUMENTが掲げられ、地域全体が歓喜に包まれました。粉乳とバターの製造からスタートし、月5500トの原料乳を全自動で処理。脱脂粉乳や全脂粉乳（各25キ）を1万6000袋、バター原料用クリームを生産する最新鋭の設備を誇りました。

1976年にはバターの生産を終了しましたが、1990年以降は濃縮乳やクリーム

の製造を開始。現在はクリームと脱脂乳の製造に特化した工場として稼働しています。原料乳は本別町をはじめ、陸別町・足寄町・池田町高島などから集められ、池北地域の酪農を支える重要な拠点となっています。

製造拠点がなくなる 佐野組合長「寝耳に水」

昭和30～40年代に誕生した2大工場は本別農業に好循環をもたらしました。工場誘致後、品種改良や育苗技術向上が加速し、収量は劇的に伸びました。規模拡大による農業効率化も進みました。特に糖業は裾野の広い産業として幅広い雇用を生み出し、製糖期の白煙や朝の樹水は本別の冬の風物詩となりました。「ほのぼの君」をキャラクターにした「ほのぼの印」の砂糖は広く定着しています。

しかし、半世紀の経過とともに設備の老朽化が進み、会社全体の事業戦略転換もあり、2大工場とも苦渋の選択を迫

られることになりました。

「寝耳に水。両工場がなくなると聞いた時は本当にショックでした」。2021年8月、北糖が本別製糖所の砂糖生産を2023年3月で終了すると発表し、2023年12月には明治の生産体制再編として2027年9月に本別工場が生産中止予定という話を受け、佐野政利組合長は当時を振り返りました。

2大工場の生産終了は、生産者を直撃する以上に、税収や雇用など地域全体の経済的損失につながります。従業員の配置転換に伴う人口減の加速が危惧されます。唯一の救いは、北糖が拠点として本別事業所を存続させることです。

明治については、本別工場に生乳を出荷している十勝東北部の4農協が「明治本別工場生産中止に伴う4JA対策協議会」を設立しました。同協議会が配乳権を持つホクレンや北海道中央会に要望書を提出したことで、生産者や輸送業者の負担を最小限に努めるよう、ホクレンと明治が交渉を重ねています。

「地域に貢献、今後も」 北糖、明治工場長の思い

北糖は本別事業所として生まれ変わり、砂糖の原料となるビートの受け入れ体制を強化しています。今秋、大型車両に対応するトラックスケール（車両重量計）を導入しました。来年度には老朽化しているビートバイラー（ビートを積み上げる大型機械）を更新します。製糖工場から堆積場や保管場所へ役割が変わる中、施設機能強化で地域農業を支援していく狙いです。

鶴見卓也所長は「本別は原料調達を確保する上で重要な拠点であることに変わりなく、将来に向けて安定の体制をつくり出す」と大型投資について説明した上で、「これまでビートを安定供給してくれた本別に感謝しており、今後も砂糖の自給率向上に貢献し

たい。砂糖以外の『プラスワン事業』にも協力していきたい」と力を込めます。

明治本別工場は2027年9月をもって生産停止を迎えますが、これまで地域経済や農業に貢献し、社員一人ひとりが自信と誇りを持つての仕事は変わりません。

小倉弘幸工場長は「工場操業から半世紀にもなり、本別町や地域のみならず共に歩んでこられたことに感謝しています。原材料不足や経済的な変動など多くの課題もあり



明治本別工場
の小倉弘幸工場長



北糖本別事業所の
鶴見卓也所長



北糖本別事業所に導入されたトラックスケール

ましたが、地域の力強い支えで幾度も困難を乗り越え、その経験と絆は地域農業と乳業の発展に寄与できました」と感謝の言葉を述べています。

【予告】

次号では、佐野政利組合長と田中敏行前組合長のインタビューをはじめ、歴代組合長にスポットを当てて特集します。ぜひご覧ください。

本別町農業青色申告会からのお知らせ

1. 令和7年の基礎控除額等の改正について

令和7年5月に国税庁より送付された「源泉所得税改正のあらまし」または、当会発行の「情報発信R7-1」または「R7-4」をご確認ください。

2. 令和7年分確定申告受付について

本年も申告受付日時を設定させていただきます。

ご理解とご協力をお願いいたします。

- 1) 簿記点検・申告受付日時は、12月末頃にファックスにてご案内しています。
- 2) 受付時間は、午前9時または9時30分から、午後4時または5時まで（戸別にご案内）。
土・日・祝日は休業です。
- 3) 受付は、1人あたり約1時間を予定しています。
 - ・指定日時以外に来所された場合は、当日の予定者が終了した後のご案内となります。そのため、当日中に手続きが完了しない可能性がございます。あらかじめご了承ください。
 - ・ご都合がつかない方や日時変更をご希望の方は、事前にご連絡ください。

※簿記点検開始以降は、簿記点検が優先されます。

3. 各種ご相談・操作説明に関するお問い合わせ

- ・クミカンデータ（Excel形式）受領時の操作方法
- ・減価償却のパソコン入力操作
- ・その他、各種ご相談に対応いたします。



4. 申告書の押印について

確定申告書への押印は不要となりましたが、例年どおり押印をお願いいたします。
押印は申告受付とは別日にご案内いたします。

5. インボイス制度について（令和5年10月1日開始）

- 1) 登録事業者は、インボイス対応の書類発行が必要です。
- 2) 非対応取引先からの仕入れについては、令和11年9月30日まで段階的な経過措置があります。
- 3) 免税事業者が登録した場合、令和8年9月30日を含む課税期間まで特例措置があります。

6. 電子帳簿保存法について（令和6年1月1日開始）

電話料金や請求書・領収書などを電子データ（メールなど）で受け取った場合は、電子保存の対象となります。データの保管方法にご注意ください。

7. 農協配置薬の領収書について

領収書が必要な方は、下記の推進員まで直接ご連絡ください。

推進員：羽原 浩一 ☎ 080-5596-6806

8. 池田税務署からのハガキについて

1月末頃に確定申告に関するハガキが届きます。
申告受付の際にご持参ください。

9. 源泉所得税の納付期限について

納付期限は、1月20日（火）です。

納付額がゼロの場合でも、税務署への納付書提出が必要ですのでご注意ください。



★ ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください

お問合せ先

☎ 22-3165（農民同盟・直通）

『労災保険』について

～万が一の農作業事故にそなえて労災保険に加入しましょう～

労災の加入の種類

第1種特別加入（中小事業主等）

- ・労働者を年間100日以上雇用する予定の事業所は労働者と共に事業主とその家族が加入できます。
- ・加入時に申請する所定労働時間内の農作業上の事故が補償されます。
- ・事業主所有の事業場施設内外（倉庫・牛舎・畑・牧場・パドック等）での作業中が補償の対象となります。

第2種特別加入（特定農作業従事者）

- ・労働者の雇用日数の少ない事業所の事業主と家族が加入できます。
- 又、労働者を短期間のみ雇用する事業所については、労働者のみ第1種特別加入することができます。
- ・第2種の特別加入は、土地の耕作、開墾、植物の栽培、採取、家畜の飼育作業で、アからオまでの作業中の事故が、特別加入対象事業場での補償の対象となります。



ア 動力により駆動する機械を使用する作業



イ 高さが2メートル以上の箇所での作業



ウ サイロ、むろなどの酸素欠乏危険場所での作業



エ 農薬の散布作業



オ 牛、馬、豚に接触し、または接触するおそれのある作業

もし事故が発生したら

- ◆ ケガをした時は「大事ではない」などと自己判断せずに、速やかに病院へ行ってください。
- ◆ 病院では、労災に加入していることを医師に伝えてください。
- ◆ 事故が発生した際は、管理部企画課（☎22-3148）までご連絡ください。

ここに注目!

労働保険事務組合より 労災保険年度更新のお知らせ

下記日程で年度更新の手続きを行います。指定日時に出席をしていただき手続きの完了にご協力をお願いします。新規加入希望の方、また脱退を希望される方も、必ず手続きに来ていただくようお願いします。

日時

① 3月3日(火) ② 3月4日(水)

両日共 午前9時30分～12時 午後1時30分～4時

※最終受付日は、3月13日(金)とします。

※上記日程で都合の悪い方は、企画課までご連絡ください。

場所

JA本別町2階 会議室

携行品

筆記用具・印鑑・作業野帳（1種加入者）

通知はがき（既加入者へ送付）・昨年の控え（1種加入者）

※手続きが混み合うと多少の待ち時間がかかりますことをご了承願います。

理事会の動き

第9回 11月27日

付議事項

①理事の年末クミカン精算について

②特別経済協議者の年末クミカン精算について

③組合員の出資に係る持分の減口について

④理事との利益相反取引に伴う契約の承認について

⑤令和7年度年末手当の支給について

協議事項

①年末年始の休業について

報告事項

①監査報告について

②行事経過報告について

③10月末財務および余裕金の運用状況について

④組合員の加入脱退状況について

⑤大口信用供与等の報告について

⑥畜産販売、生乳生産状況について

⑦㈱アグリマネジメント十勝

四半期報告および作業実績について

第10回 12月19日

付議事項

①特別経済協議者の年末クミカン精算について

②組合員の出資に係る持分の譲渡について

③特別調査委員会設置要領および役員責任調査委員会設置要領の制定について

④コンプライアンス・マニユアルの一部改正について

⑤理事との利益相反取引に伴う契約の承認について

協議事項

①令和8年春期組合員懇談会の開催について

報告事項

①行事経過報告について

②11月末財務および余裕金の運用状況について

③組合員の加入脱退状況について

④令和7年度畜産クラスター事業に係る配分予定対象者について

⑤大口信用供与等の報告について

⑥理事に対する資金の貸付の

報告について

⑦令和6年産小麦追加精算および控除・加算について

⑧令和7年産小麦追加概算について

⑨令和5年産澱原馬鈴しょ本精算について

⑩令和6年産澱原馬鈴しょ追加概算および品種奨励金について

⑪令和6年産大豆本精算について

⑫畜産販売、生乳生産状況について

⑬人事の発令について

退職のご挨拶



管理部 管理経理課
山下 莉奈

このたび、12月31日をもって退職させていただきましたこととなりました。

在職中は、皆様より温かいご指導とご厚情を賜り、心よ

り御礼申し上げます。

日々の業務を通じて得た経験は、私にとって大きな財産です。未熟な点も多く、ご迷惑をおかけすることもありました。皆様からいただいた励ましや助言に支えられ、今日まで務めることができました。支えてくださった皆様のお力添えに、改めて深く感謝申し上げます。今後は、これまでの経験を生かしながら、新たな目標に向かって挑戦し、さらなる成長を目指してまいります。

末筆ながら、これまで賜りましたご厚情に心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸、そしてますますのご発展をお祈り申し上げます。退職のご挨拶とさせていただきます。

大変お世話になりました。
▽令和7年12月31日付
勤続年数 2年8カ月



「巡回ドック」を受診される農業者の皆さまへ

帯広厚生病院の「巡回ドック」を本別町健康管理センターにお申込みの際は、農協の「組合員」または「組合員家族」であることを、ひと言お伝えいただけますようお願いいたします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

私は、
農協の組合員です。
(組合員家族)



年 末 年 始 の 休 業

年末年始の休業を次の通りとさせていただきます。
ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願い申し上げます。

日程 区分	31日 (水)	1日 (木)	2日 (金)	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)
一 般 業 務	休 業						
金 融 窓 口	休 業					平 常 業 務	
キャッシュ コ ー ナ ー	休 業					午前9時～午後5時	
授精・移植業務	午前中 業 務	休業	午 前 中 業 務				
M C C 業 務	検査業務（抗生物質・血乳検査のみ）				検 査 業 務		
レンタル業務	休 業					平 常 業 務	
農産センター	休 業						
生 産 資 材 セ ン タ ー	休 業						
給油センター	午前8時30分 午後1時	休 業			午前8時30分 午後5時	休 業	

一般業務始め……1月7日（水）

※1月7日（水）は新年交礼会のため、キャッシュコーナーと給油センターを午後4時で業務終了とさせていただきます。

注1：期間中のミルクチェックセンター（M C C）、レンタル業務は次の通りとなります。

- (1) 体細胞検査は12月31日（水）から1月3日（土）まで、十勝農協連が休務のため行いません。
- (2) 検査サンプルは、一番車または午前9時30分（厳守）のM C C持込み分が当日判定、午前9時30分を過ぎた持込み分は翌日になります。
- (3) レンダリング業務については、5日（月）から開始いたしますが、受付戸数が多かった場合は、翌日以降の集荷になる場合もありますのでご理解願います。

なお、1月3日（土）、4日（日）はJ Aコネクトで8時15分まで受付します。

注2：12月31日（水）、1月4日（日）のスタンド業務については、給油業務のみとなります。

注3：農産センターは12月26日（金）が仕事納めとなります。

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。昨年は本誌をご愛読いただき、ありがとうございます。今月の表紙には、穏やかな眼差しと堂々とした立ち姿が印象的な牡馬・フウジンライデンに登場してもらいました。斜め左から撮影した一枚は、撮影中も終始落ち着いていて、まるでこちらの意図を汲んでくれているかのようにでした。紹介文に使用した横姿の写真は、頭が左を向いた「左馬」の構図。縁起の良い姿に、今年も皆さまとともに、ゆったりと力強く歩んでいきますようにという想いを込めました。

今年も、読者の皆さまに楽しんでいただける誌面づくりを目指してまいりますので、どうぞよろしく願います。

〈Y・O〉



栄養士
吉田 理江

しっかりと食べて冬の健康な体づくり

お正月のごちそうを楽しんだ後、体重計の数字に驚いた方も多いのではないのでしょうか。

つい食べ過ぎてしまったときも、極端な食事制限や単品ダイエットは逆効果です。必要な栄養が不足すると代謝が下がり、かえって体重が戻らなくなります。大切なのは、しっかりと食べながら体を整えること。今回はお正月太りを解消するために、お薦めの栄養素を三つご紹介しましょう。

■食物繊維

野菜、キノコ、海藻、玄米に多く含まれる食物繊維は、お正月太り解消には欠かせない栄養素です。水溶性食物繊維は胃の中で膨らんで満腹感を与え、糖質の吸収を緩やかにして血糖値の急上昇を抑える働きがあります。不溶性食物繊維は腸の動きを促進し、便秘の改善に役立ちます。ワカメとダイコンのみそ汁や、キノコを使った炊き込み玄米ご飯などで取り入れてみましょう。

■タンパク質

肉、魚、卵、大豆製品、乳製品に含まれるタンパク質は、筋肉の材料となり基礎代謝を

高めます。筋肉量を維持すると消費カロリーが増え、太りにくい体になるため毎食意識して取りましょう。また、消化に多くのエネルギーを必要とするため、食事による消費エネルギーも上がるのが特徴です。みそ汁にサバ缶や豆腐を入れると手軽にタンパク質が取れます。1食当たりおわん1杯分を目安にすると良いでしょう。

■ビタミンB群

豚肉、ウナギ、玄米、納豆などに含まれるビタミンB群は、糖質や脂質の代謝を助ける働きがあります。特にビタミンB1は糖質代謝、ビタミンB2は脂質代謝に関与するため、不足すると疲労感が出やすくなるので意識して取りましょう。豚肉とキノコ、野菜を一緒に炒めると食物繊維も一緒に取れます。

お正月太り解消のポイント
は、食事制限ではなく、バランスの良い食事と適度な運動です。食べ物を味方に付け、無理なく健康的に体を整えていきましょう。



生乳生産情報

【単位：乳量(ト)、成分(%）、単価(円)】

		月 計								累 計	
		乳 量	前年比	脂 肪	無脂固形	乳 代 (8%税込)	補給金	集送乳調整金	乳代計	乳 量	前年比
10 月 受託分	本別	3,636.7	99.7%	4.098	8.936	121.47	6.9316	2.0818	130.48	26,162.8	100.2%
	十勝	106,191.7	100.8%	4.094	8.912	121.24	6.9316	2.0818	130.26	767,937.9	103.1%
	全道	326,606.9	100.0%	4.186	8.918	122.55	6.9316	2.0818	131.56	2,356,806.1	102.1%
11 月 受託分	本別	3,489.0	99.3%	4.179	8.978	120.86	7.2754	2.1850	130.32	29,651.8	100.1%
	十勝	102,856.0	100.4%	4.195	8.981	121.16	7.2754	2.1850	130.62	870,793.9	102.8%
	全道	314,600.8	99.6%	4.277	8.966	122.17	7.2754	2.1850	131.64	2,671,407.0	101.8%

※月計の成分および乳代は、平均値ですが、乳代は成分・乳質の状況で加減されています。

【乳代】について…令和2年4月より共販経費控除前の金額を使用しております。

【共販経費単価】10月 5.61円、11月 4.82円

ホクレン十勝肉素牛市場結果

(黒毛和種) ※税込価格



11 月

市場全体平均価格

(去勢) 785,694円

(雌) 677,285円

本別平均価格

(去勢) 738,339円

(雌) 657,708円

12 月

市場全体平均価格

(去勢) 819,126円

(雌) 713,499円

本別平均価格

(去勢) 754,374円

(雌) 634,739円